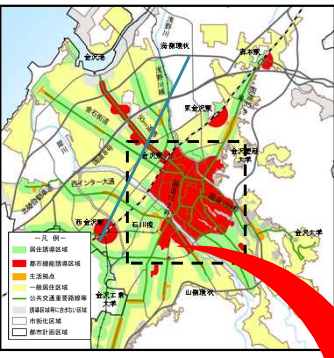
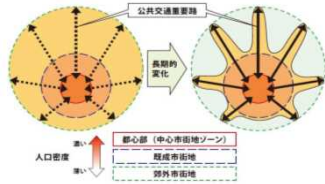


「軸線強化型都市構造」への転換 ～まちなかを核とした集約都市の形成～

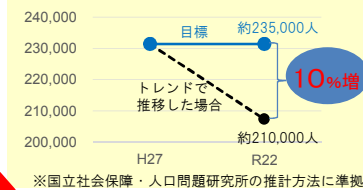
居住の集約 公共交通重要路線沿線への誘導

○都心と市街地ゾーンを結ぶ主要なバスルートと鉄道を公共交通重要路線とし、沿線を居住誘導区域に設定。
(市街化区域の**43%**)



▶居住誘導区域内の人口密度**62.9人/ha**を維持。

居住誘導区域内の人口トレンド*と目標値



賑わいの創出 都心軸での再開発等

- 都心軸で再開発(16箇所、敷地面積14ha)を集中的に行い、多様な機能を集積(ホテル、商業、子育て支援等)。
- 北陸新幹線の開業に備えて金沢駅前の区画整理を行い、民間投資(約450億円)を誘発。
▶地価が約1万円/m²(6年間で5%)上昇。
国交省試算
- 民間事業者による空きビルのホテルへのリノベーション、専門学校等の教育機関のまちなかへの誘致を促進。
- 金沢学生のまち市民交流館を整備し、学生をまちなかに呼び込み、交流を促進。



公共交通軸の強化 バス路線の再編等

- バス路線の段階的再編や交通結節点の機能を強化。
- 駐車場配置適正化区域*を**全国で初めて**導入。駐車場設置の指導等によりまちなかへのマイカー流入を抑制。
*都市再生特別措置法第81条第5項に基づく制度
- 「金沢ふらっとバス」により、まちなかの回遊性を向上。
- 公共レンタサイクル「まちなか」や公共レンタベビーカー「ベビのり」により、まちなかの回遊性を向上。

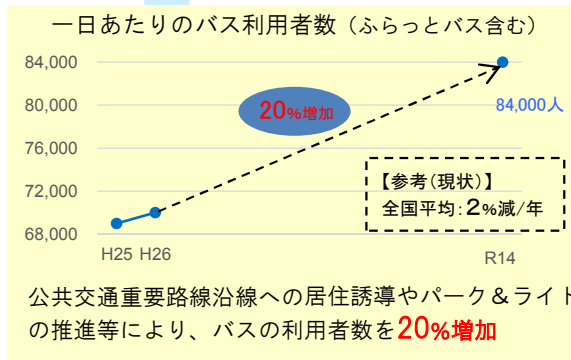
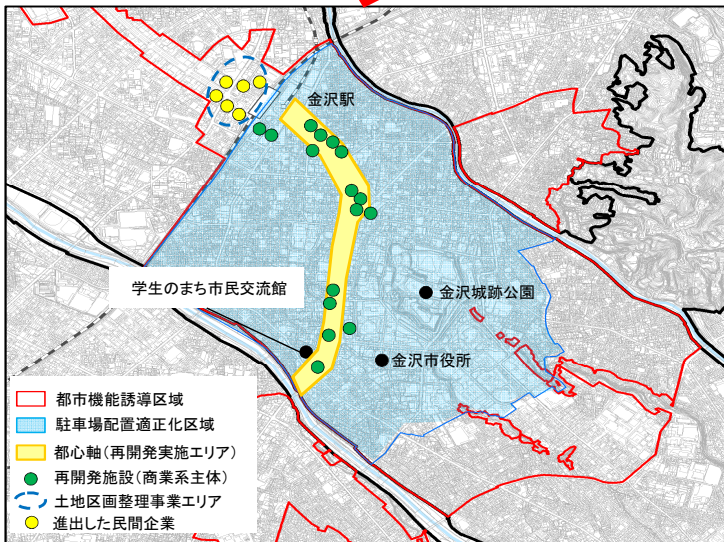
歴史的町並みの保全 空き町家の再生

- 金沢町家情報館を活用し、居住希望者を対象とする町家の売買等の総合相談窓口として機能。
- 金沢町家情報バンクによるマッチング。
建築士会と連携
- 金沢町家再生活用事業により、居住誘導区域の一部であるまちなかでの空き町家の修繕等について補助を実施(H22～)。



▶まちなか区域の住宅棟数の約30%を占める町家の保全活用を図ることにより、町家の消失割合を約10%抑制。
国交省試算

<金沢市立地適正化計画図>



期待される効果

- ・まちなかの魅力が向上することで、中心市街地における45歳未満人口の増加数が約7割*1増加(自然増除く)
- ・金沢の歴史・文化の保全を図るとともに、まちなかの賑わいを創出することで、年間入り込み客数を**100万人増加***2(1千万人(H27)→1.1千万人(R2))

*1 金沢市中心市街地活性化基本計画(平成29年4月～令和4年3月)より
*2 金沢市観光戦略プラン2016より